



東京浅草中央ロータリークラブ 週報

〒111-8765 東京都台東区西浅草 3-17-1 浅草ビューホテル 2階
TEL. 03-3847-1111 FAX. 03-3847-0154 URL: http://www.asachu-rc.jp

2012 - 2013 年度テーマ

R.I. テーマ 「奉仕を通じて 平和を」 R.I. 会長 田中 作次
地区ガバナー 石川 正一
クラブテーマ 「クラブライフの充実で、ロータリーの魅力を語ろう!」
クラブ会長 原田 毅

本日の卓話

「ココロのバリアフリー」

岩戸正一会員

今後の卓話予定

8/15 休会
8/22 「三社祭」 矢野幸士会員
8/29 ガバナー公式訪問 クラブ協議会



2012年8月8日

第1280回例会

会長 原田 毅
幹事 宮村 義男



年間100%出席

園部容弘君 6回

前回 (8 / 1 1279 回例会) の記録

来訪者紹介

◆ゲスト 2名 早稲田大学 教授 久塚純一様
米山奨学生 チョン・チヒョン様
◆ビジター 5名 東京城東R.C. 奈良康司様、東京北R.C. 森 茂男様
東京浅草R.C. 坂 真太郎様・三柴直道様・伊藤景一郎様

出席報告

総会員数	休会	出席免除	出席	欠席	出席率	修正出席率
46名	1名	3名	37名	6名	86.05%	1277 例会修正 欠席4名・出席率90.70%

東日本大震災で被災された皆様に一日も早い平和と復興がおとずれますようにお祈り申し上げます。このような時こそ、我々ロータリアンは『五大奉仕』を実行・実践しましょう。明日の日本と世界はみんなの手の中に！

会長報告<原田会長>

- ・2012. 7. 2 ロータリー財団地域セミナー (ZONE123) グランドプリンスホテル高輪
- ・2012. 7. 25 12～13年度地区ロータリー財団セミナー 如水会館

ロータリー財団が2017年に創立100周年を迎える事を踏まえ、管理委員会は、財団が奉仕の第2世紀に移行するための計画「未来の夢計画」(新補助金制度)が生まれました。日本では34地区の中から6地区がこの新補助金制度のパイロット地区として選ばれ、3年間の試験期間を終え、いよいよ2013～2014年度から全クラブに適用されます。

適用例 東京ロータリークラブの場合「東北すくすくプロジェクト」(被災地の母子への支援・津波により流出した陸前高田市の子育て支援センターの建設。補助金申請額1,100万円。クラブ持出金額1,000万円。合計2,100万円)

1920年に創立された同クラブは、創立100周年に向けて、「ポスト地雷」に継ぐ、10年後に実る形での新プロジェクトを模索していたようです。そういう中で、11が勃発し、医療機関から現地に派遣されていたクラブ会員のドクターの卓話がきっかけで、被災地の母子

[<次頁へつづく>](#)

と新生児を守ろうという事で、陸前高田市に第1号の「チャイルド ケアハウス」が生まれ

たという事です。(詳細はクラブ事務所に報告書があります。)

幹事報告<宮村幹事>

- ・本日例会終了後、クラブ事務所にて第2回理事・役員会を開催致しますので、理事・役員の出席をお願い致します。欠席の場合

代理の方の出席をお願い致します。
・8月15日の例会は夏休みのため休会ですのでお間違いのない様お願い致します。

委員会報告

<ゴルフ同好会 高木幹事>

- ・8月2日「第83回ゴルフ例会」を開催いた

します。大洗ゴルフクラブにて8時集合です。宜しくお願いいたします。

ニコニコボックス

<東京城東R.C. 奈良康司様>

- ・原田さんガンバッテ。

<山尾、藤掛、海内、関原>

- ・久塚純一様、チョン・チヒョン君、本日の卓話よろしくお願い致します。

<原田会長、宮村幹事>

- ・久塚様、本日の卓話よろしくお願い致します。チョン・チヒョン君、今後の御活躍を期待しております。

<小池>

- ・お誕生日のお祝いをして戴き有難うございました。

<太田、立野、松本、中村、藤田>

- ・オリンピック開幕。頑張れニッポン！
本当の戦いはこれからだ！

<大塚>

- ・夏本番。猛暑日が続きます。熱中症にご注意。水分、塩分、ミネラルの補給を。

<太田、海内、柘>

- ・東日本大震災

頑張ろう 東日本！

立ち上がれ 日本！！

<職業奉仕委員会 上原、松崎、藤野>

- ・「私の職業Ⅲ」6割の会員の皆様に提出い

ただきありがとうございます。これから提出される方もよろしくお願い致します。仕事関連のお話なら何でも良いです。

<山尾、藤掛、高木、浜中、上原、小林(博)、加藤、植木>

- ・天笠さん、花火大会ありがとうございました。スカイツリーと花火、最高の景観でした。

<上野>

- ・皆様、メールの返信をする場合(特にメーリングリストの返信を個人宛に行う場合)は宛先の書き換えを忘れない様、注意しましょう。

<永井、笹生>

- ・五輪(オリンピック)は、参加する事に意義あり、RC(ロータリークラブ)は出席する事に意義があります。

<植木>

- ・天笠さん、いつもお使いいただき有難うございます。今後ともよろしくお願いいたします。

<天笠>

- ・隅田川花火大会に多くの会員様と家族の方々がおいで下さって、ありがとうございました。次回は2年後に開きます。是非お出掛け下さい。

「交換留学生について」



早稲田大学社会科学部・社会科学総合学術院教授
中央大学法科大学院客員教授(社会保障法担当)
日本社会保障法学会理事

久 塚 純 一 様

履 歴

1971年 同志社大学法学部法律学科卒業
1974年 九州大学法学部助手
1978年 健康保険組合連合会研究員
1981年 北九州市立大学法学部専任講師
1982年 北九州市立大学法学部助教授
1992年 早稲田大学社会科学部助教授
1994年 早稲田大学社会科学部・大学院
社会科学研究科教授
1996年 日本社会保障学会理事(～現在)
2004年 放送大学客員教授(～2007年)
2009年 フランス国立東洋言語文化研究
院客員研究員(～2010年)

研究テーマ

- ・社会保障の国際比較に関する研究
- ・高齢者のニーズ調査に関する研究
- ・福祉における参加についての研究
- ・社会保障の国際比較
- ・フランスの社会保障
- ・日本の介護保険
- ・社会保障のフィールドワーク
- ・日本の精神科医療

「研究テーマ：介護保険制度の形成過程に関する日韓比較研究」

— 制度創設にあたっての他国（ドイツ、日本）からの影響を中心に —



米山奨学生

チヨン・チヒョン君

1. 研究の背景

UNの2010年度「世界人口の予想 (World Population prospects)」によると、先進諸国の平均高齢化率は19.4%である。それは1950年の高齢化率(7.8%)と比べ、

倍以上の増加であり、先進諸国で人口高齢化の現象が進んでいるのを意味する。

しかし、人口高齢化は進展しつつある一方、核家族化や女性の就業の増加、家族の扶養に対する価値観の変化などによって、家族による介護は困難なものになっており、そのため、介護サービスに対する需要はより増大している。さらに、人口高齢化は、介護に対する医療費の増加や需要の急増による提供サービスの質的な問題など、様々な問題を引き起こす原因となっている。

このような人口高齢化による多様な問題に対して各諸国は、自国の社会事情に合わせて問題対策に取り組んでいる。その中でもドイツ（1994年施行）をはじめ日本（2000年施行）や韓国（2008年施行）は、人口高齢化対策の一環として社会保険方式の介護制度（以下、介護保険制度）を次々と創設した。

本研究の比較対象である日本と韓国では、制度創設にあたって、海外の介護に関する制度についての研究が活発に行なわれた。その中でも、ドイツは他の国より早く介護保険制度を創設したため、制度先行国として参考の対象となった。さらに、日本は韓国と地理的にも接近し、文化や制度上にも類似する部分が多いため、日本の介護保険制度は、韓国の介護制度創設において他の国よりも参考とされた。また、先行国の介護制度は参考の対象とされただけではなく、制度創設において肯定的な世論の形成にも力になった。したがって、ドイツが日本や韓国へ、さらには日本も韓国へ、制度創設にあたって重要な影響を及ぼしたと考えられる。

ところが、ドイツや日本、韓国（以下、3ヶ国）には、介護保険制度創設において、人口高齢化や家族形態の変化などの共通する背景があるものの、総人口に占める高齢者の割合や介護に関する既存の社会保障制度の仕組みなどの相違点もある。介護制度上においても社会保険方式という同じ枠組みでありながら、保険者や給付対象者などの相違点も非常に多い。

それでは、介護保険制度を先行している国を参考にしながら創設されたにもかかわらず、制度上に共通点・相違点が生じた原因は何であろうか。むろん、ある制度の創設にはそれぞれの国の事情があるため、相違点が生じるのは当然であるが、どのような事情によって共通点・相違点が生じたのかを分析するのは、制度の改善や他の国の制度創設において重要な意味を持つと考えられる。

したがって、3ヶ国の介護保険制度創設の背景や制度上の内容を比較し、創設当時の社会事情を分析することで、介護制度創設にあたっての他国からの影響や社会保障に関する日本と韓国の特殊性を把握することができると考えられる。